



平成29年6月から9月にかけて、男女共同参画標語・川柳を募集しました。小中学生の部225点、一般の部15点の応募があり、審査の結果、次のとおり入賞作品が決定しました。

一般の部

小中学生の部

最優秀賞

できる時 できる範囲で さし出す手

優秀賞

子育ては 二人三脚 ゆったりと

佳作

個性的 なんて素敵な 褒め言葉

疲れたら 手と手を取って 思いやり

ぼくやるよ 私もやるよ いっしょにね

荒田 堀部由枝

根の神 大村あき子

宮脇 矢住優樹

作田一丁目 榮喜代子

山野田 柴田紀子

最優秀賞

「男なら」「女なら」より「あなたなら」

北中学校 小出菜月

優秀賞

パパ変身 ママの助っト イクメンダー

南小学校 佐々木哲

佳作

たまにはね パパがママでも いいのにな

長久手小学校 浅井優奈

自分なら どう思うかな この言葉

南小学校 米坂彩初

オムツ替え やんないパパは 育児なし

北中学校 松山琉月

相談窓口のご案内 ～ひとりで悩まないで!

ドメスティック・バイオレンス (DV) に関すること

暴力に悩んでいるとき、身近に相談相手がいないとき、そんな時はご相談ください。

女性相談 (長久手市子育て支援課)

相談員 女性相談員 電話 0561-56-0633
相談日 原則第2・第4金曜日 10:00-15:30※要予約

男性もお気軽に
ご相談ください

女性悩みごと電話相談 (愛知県女性相談センター)

相談員 女性相談員 電話 052-962-2527
相談日 月～金 9:00-21:00 土・日 9:00-16:00
祝日・年末年始は除く

DV相談ナビ (運営:内閣府)

お近くの相談窓口をご案内します。
電話 0570-0-55210

子育て相談・虐待相談・通告に関すること

18歳までのお子さんに関することや子ども虐待についての相談窓口です。

長久手市家庭児童相談室 (長久手市子育て支援センター内)

相談員 家庭児童相談員 電話 0561-63-9500
相談日 月～金 9:00-17:00

児童相談所全国ダイヤル

お住まいの地域の児童相談所に電話がつながります。
電話 189 (24時間対応)



編集:長久手市男女共同参画審議会

発行:2018年4月 長久手市くらし文化部たつせがある課

〒480-1196 愛知県長久手市岩作城の内60番地1

電話 0561-56-0641 FAX 0561-63-2100 メール tatsuse@nagakute.aichi.jp



男 女共同参画社会とは...

誰もが性別役割分担意識にとらわれることなく、自分の個性と能力を発揮していくことは、人ひとりがいきいきと幸せに暮らせることにつながると同時に、社会全体の活力にもなります。

男女共同参画社会とは、男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあら

ゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会を実現するためのものです。



男女共同参画について、みなさんで考え、知識を深めることを目的として連続講座を開催しました！

講師：愛知淑徳大学非常勤講師
中島美幸さん

1/21

歌謡曲のなかの「女」と「男」—時代の動きとともに

10:00~12:00 長久手市まちづくりセンター集会室 1

誰もが知っている懐かしの歌謡曲。その歌詞から見えてくるそれぞれの時代背景を男女共同参画の観点から追いました。1990年代のバブル崩壊以前は、「男は仕事、女は家庭」という考えに表されるとおり、仕事中心の生活へ。しかしながら、バブル崩壊を機に男性問題が浮上し、会社人間となってしまった男性の生き方を変える必要が出てきました。2000年代以降は仕事と子育ての両立、女性活躍などの取組が生まれ、今、時代が大きく動きつつあります。



参加者の声

メディアから受ける無意識の洗脳が自分の想像以上にあることを知って驚きでいっぱいです。知っているか、知らずに生活するか…人生で大きな違いだと思いました。



1/28

「人生100年時代」を私らしく

10:00~12:00 長久手市まちづくりセンター集会室 1

今後、大きく変わっていく日本と世界を比較しながら、想定されている問題を整理し、これからのまちづくり、人生設計について学びました。2007年以降に生まれる子の半数が100歳以上生きると言われており、今までの人生3ステージ（教育、仕事、老後）の考えから、マルチステージの人生へ変わる必要があります。また、少子高齢化や人口減少により、「男は仕事、女は家庭」では立ち行かなくなります。男女が安心して働ける環境を整備し、今から「女性活躍」「男性の家事育児参加」「ワーク・ライフ・バランス」を推進していかなければなりません。

参加者の声

- 日本がいかに世界から遅れをとっているかがよく分かりました。
- スウェーデンの男性育休の制度がとても印象に残っています。
- 高齢化問題には社会教育や生涯学習が重要になってくると思いました。

ほっとぶれいくコラム

ワーク・ライフ・バランスから女性活躍へ

ワーク・ライフ・バランスとは、ひとこととて言うところ「仕事と生活の調和」のことです。しかし、仕事と生活のどちらを重視するか、というように両者を天秤にかけるということではありません。仕事と生活の調和をとることで相乗効果や好循環を与え、健康で豊かな生活をするという考え方です。

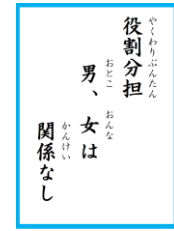
一見、女性が仕事面でより活躍する「女性活躍」とは関係ないように思えますが、実は密接に関わり合っています。女性活躍は、男性が夜遅くまで仕事し、女性にばかり、家事や育児の負担が大きいい状況では実現できません。家事や育児をパートナーと分担するために、まずは、男性が仕事中心の生活を見直し、仕事と生活の調和をとることが必要です。

男性のみならず、残業を当たり前のものでせず、家族との時間を充実させることが当たり前前の社会にしていきたいと思います。



11月12日（日）、2017ながくて市民まつりに男女共同参画啓発ブースを出展しました！

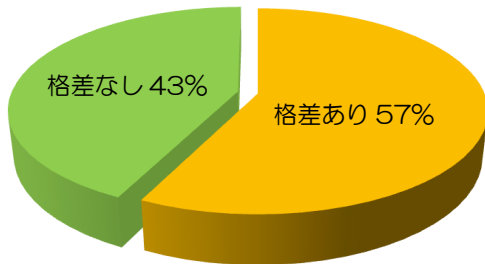
啓発ブースでは、子ども向けの男女共同参画カルタを実施しました。およそ100人の子どもたちがブースを訪れ、男女共同参画について楽しみながら学びました。隣のブースの国際交流協会さんとも連携し、外国人の方と一緒にカルタで遊び、子どもたちにとっては、外国人の方と触れ合う良い機会にもなりました。



アンケート結果

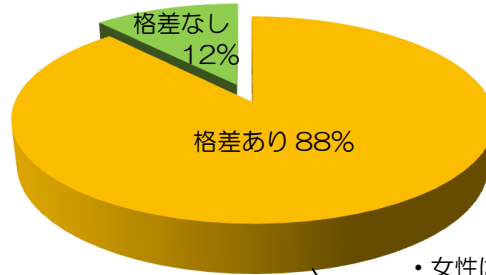
★ 普段の生活の中で男女格差を感じることはありますか？

男性回答者



- ・男性が家事に消極的
- ・育休制度が取りにくい
- ・時短制度が取りにくい

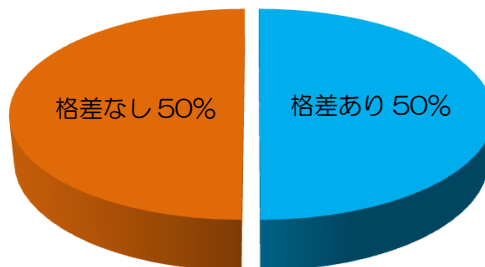
女性回答者



- ・女性は家事をしっかりしろと言われる
- ・男性の方が昇進が早い
- ・家の仕事は妻任せ
- ・女性専用車両

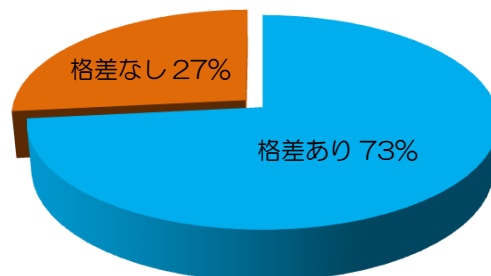
★ 普段の生活以外で男女格差を感じることはありますか？

男性回答者



- ・福祉の現場に男性が少ない
- ・政界でも会社組織でも女性リーダーが少ない。もっと進出すべき

女性回答者



- ・国会議員は男性議員がほとんど
- ・男性保育士が嫌がられる

普段の生活でも、それ以外でも、男女格差の感じ方は男性と女性で違うようです。まずは、家庭での役割分担意識についてパートナーと話し合ってみてはいかがでしょうか。